

令和3年度 農業農村整備事業 再評価調査

事業名	一般農道整備事業	ふりがな 地区・路線名	かみいたちく 上板地区										
事業主体	徳島県	関係市町村	板野郡上板町										
事業概要	<p>(事業目的) 本地区は水稲・にんじんを中心にした水田地帯にあり、計画路線は、起終点を一般県道板野川島線及び町道37号とし、別途進めている県営かんがい排水事業の排水対策工との連携のもとに事業を実施しており、かんがい排水工事と農道工事の同時一体施行により、工事費縮減を図る。 本農道の整備により、通作・資材搬送の省力化や大型車両の導入による輸送の効率化を目指し、農業経営の合理化に資することを目的とする。</p> <p>(事業内容)</p> <table border="0"> <tr> <td>受益面積</td> <td>54ha</td> </tr> <tr> <td>受益戸数</td> <td>108戸</td> </tr> <tr> <td>主要工事</td> <td>農道工720m 全幅員6.0m(車道幅員5.0m)</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>275,000千円(国50%:県25%:町25%)</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td>平成9年度～令和6年度</td> </tr> </table>			受益面積	54ha	受益戸数	108戸	主要工事	農道工720m 全幅員6.0m(車道幅員5.0m)	総事業費	275,000千円(国50%:県25%:町25%)	工期	平成9年度～令和6年度
	受益面積	54ha											
受益戸数	108戸												
主要工事	農道工720m 全幅員6.0m(車道幅員5.0m)												
総事業費	275,000千円(国50%:県25%:町25%)												
工期	平成9年度～令和6年度												
評価項目	<p>(事業の進捗状況) 当該農道は、県営かんがい排水事業により整備する排水路上に建設するものであり、工事費縮減の観点から一体施工としているため、施工時期が非出水期になる等の制約が生じるものの、かんがい排水事業と連携し、進捗を合わせて整備を進めている。 現在、起点から362m区間が舗装まで完成し、集荷施設から地区外への搬出において、車両の大型化により輸送の合理化が図られ、地域の農業振興に貢献している。 令和3年度までの進捗率は事業費ベースで87%となる。</p>												
	<p>(関連事業の進捗状況)</p> <table border="0"> <tr> <td>県営かんがい排水事業</td> <td>上板地区 (工期 H6～R3)</td> <td rowspan="2">} 56%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>上板2期地区 (工期 R4～R10)</td> </tr> </table>			県営かんがい排水事業	上板地区 (工期 H6～R3)	} 56%		上板2期地区 (工期 R4～R10)					
	県営かんがい排水事業	上板地区 (工期 H6～R3)	} 56%										
		上板2期地区 (工期 R4～R10)											
<p>(社会経済情勢の変化) 本地域では、農業従事者の高齢化や後継者不足等により、地域農業を取り巻く状況は厳しくなっているため、地区内農道網の整備により地域の交通ネットワークを構築し、営農労力の節減を図ることによる輸送体系の合理化が重要になっている。</p>													
<p>(計画上重要な部分の変更の必要性の有無) なし</p>													
評価項目	<p>(費用対効果の分析) 工事が完成した区間は、県道、町道に接続しており次の効果が発生している。 1 通作や各種生産資材の搬出搬入が容易となり、営農の省力化に寄与している。 2 農産物の集荷施設等への輸送時間が短縮され、効率的な農業が展開されている。 3 一般交通の走行に係る人件費や車両経費等の走行経費の節減が図られている。 4 総費用総便益比＝総便益／総費用＝1.25</p>												
	<p>(受益農家、関係機関の意向) 関係町、地元受益農家から、早期完成を強く要望されている。</p>												
	<p>(事業の実施方針) 継続して事業を実施する。</p>												